

S20 イナズマアンカー施工方法

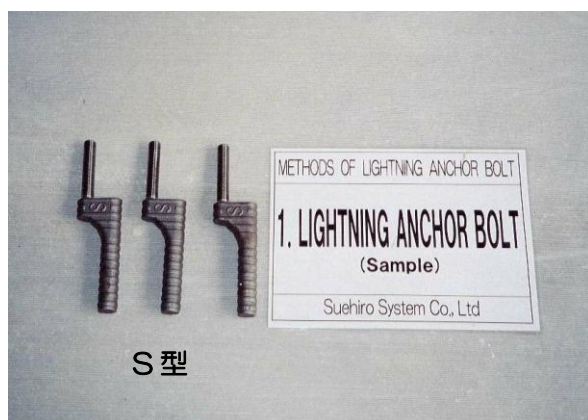
(鉄筋に干渉されない接着系偏心あと施工アンカー工法)

スエヒロシステム株式会社



〒541-0046
大阪市中央区平野町 1-6-8-201
TEL : 06-6203-2284
FAX : 06-6203-1136
info@suehiro-sys.co.jp
http://suehiro-sys.co.jp/
アンカー事業部：末廣

- ① イナズマアンカーボルトと接着剤を用意。
(接着剤はイナズマアンカーボルトに付属しております)



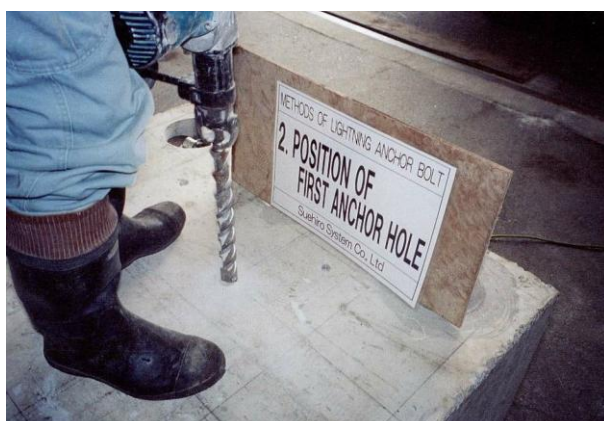
<必要特殊工具>

- $\phi 35 \times 250\text{mm}$ 以上 ($\phi 38 \times 250\text{mm}$ でも可)
- $\phi 100$ ハンドグラインダー
- $\phi 100$ ダイヤモンドカッター刃
- 注入ガン



- 接着剤 (付属品)
(注入ガンは必要によりご注文ください。)

- ② 墨出し位置に穿孔し、鉄筋と遭遇。(第 1 アンカーボルト孔が鉄筋と遭遇)



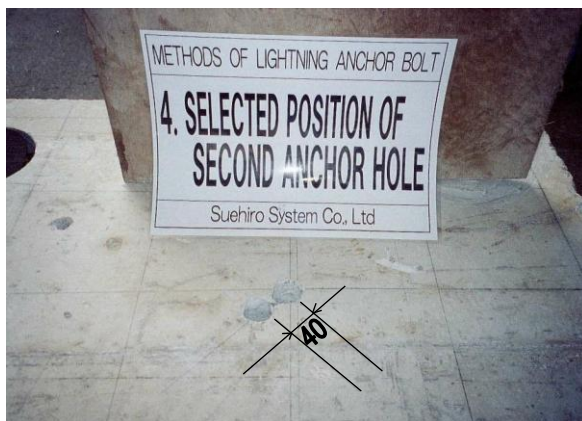
M20 のケミカルアンカーボルト用に、
 $\phi 24$ のドリルで穿孔します。



＜穿孔位置に鉄筋干渉＞

鉄筋と遭遇したら穿孔を中断し、清掃を行い、鉄筋の配置方向を確認してください。

- ③ 第 1 アンカーボルト孔より、偏心距離※（40mm）斜め方向に、第 2 アンカーボルト孔位置をマーキングし、穿孔。 → 正規寸法長さの穿孔ができる。



＜第 2 アンカーボルト孔の穿孔＞

第 1 アンカーボルト孔芯より、鉄筋が存在しない方向に 40mm 偏心させた位置に $\phi 35$ キリ（ $\phi 38$ キリ）の孔を深さ 190mm まで穿孔してください。

（斜め方向が鉄筋の存在する確率が低い）

さらに、第 1 アンカーボルト孔も $\phi 35$ キリ（ $\phi 38$ キリ）で、大きくしてください。

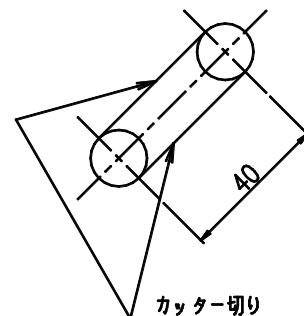
- ④ 2 つのアンカーボルト孔を連結する。

ダイヤモンドカッターでコンクリート表面を切り込み、ドリル刃を左右に回転しながら動かして研る。



＜コンクリート表面をカッター切り＞

2 つの孔の外側を結ぶように、カッター切り込み線を入れる。



cf.

添付穿孔要領をご参照ください。



＜アンカーボルト孔連結＞

イナズマアンカーボルト連結部がすっぽり入り、連結部がコンクリート表面より 5～7mm ほど窪ませる連結孔をあける。（接着剤を注入する前に、イナズマアンカーボルトをセットして、すっぽり収まることを確認してください。）

- ⑤ 穿孔部をブラッシングする。
- ⑥ ブロワーにより清掃する。
- ⑦ 穿孔部を再度ブラッシングする。
- ⑧ ブロワーにより再度清掃する。
- ⑨ 接着剤を注入する。
（当社指定品を必ず使用してください）

穿孔部の清掃がアンカーボルト付着力の決め手です。
ブラッシング・清掃を2回ずつ繰り返してください。
水分は乾燥させてください。



＜接着剤注入＞

- ⑩ イナズマアンカーボルトをクッションハンマー等で打込む。（あるいはボルト頭を養生して手で押し込む。）



＜イナズマアンカーボルト取付＞

イナズマアンカーボルトの連結部表面が、コンクリート表面から 5～7mm 窪むように設置してください。

⑪ イナズマアンカーボルトセット完了



<イナズマアンカーボルト取付完了>

接着剤はコンクリート表面（壁面）と平滑に仕上げ、余った分はヘラ等で取り除いてください。また、仕上げ時にコンクリート粉を表面に撒くと美しく仕上がります。その後、24 時間養生して完成です。

⑫ 引張試験



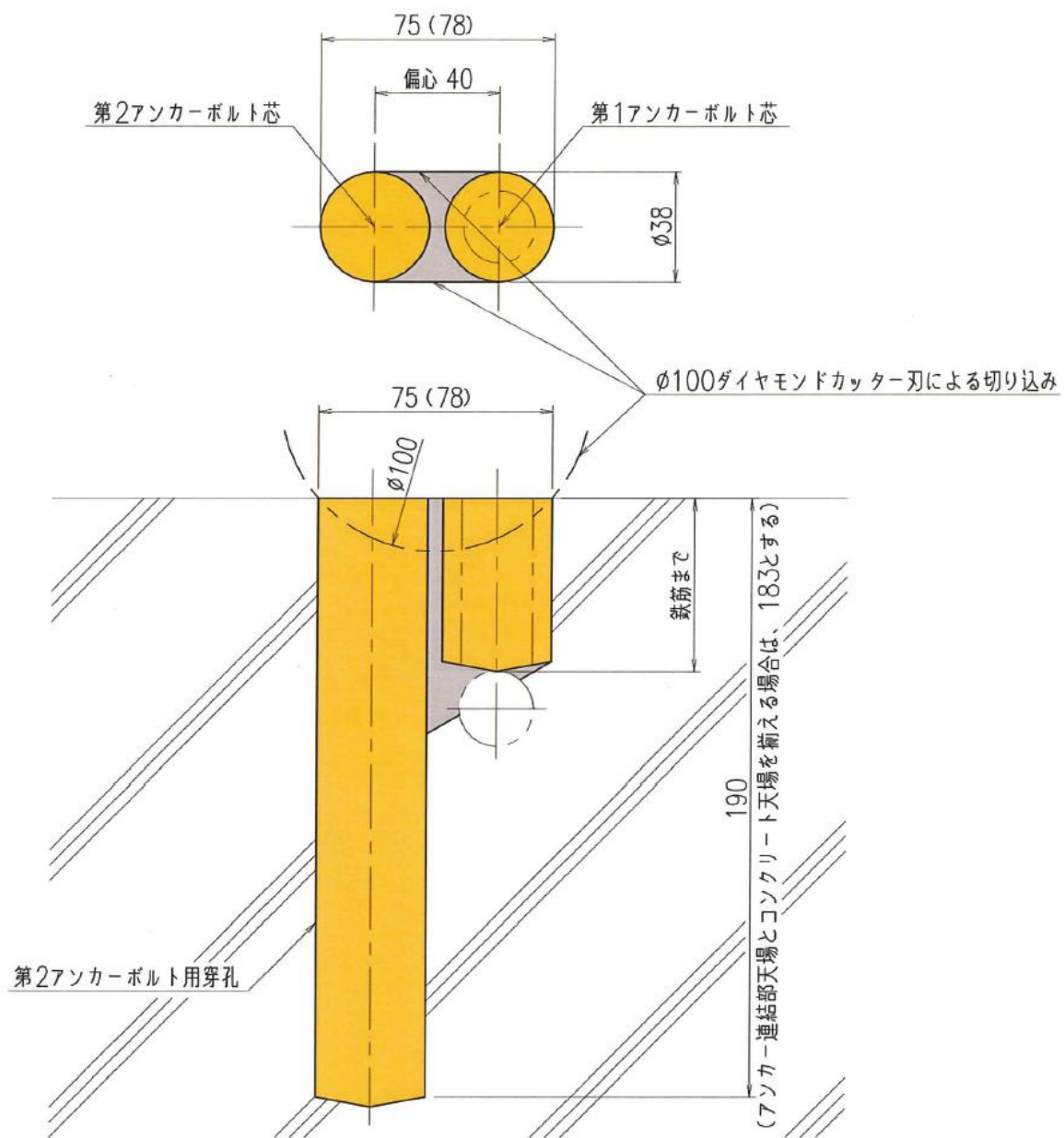
<引張試験>

24 時間養生後、アンカーボルトの引張試験を実施してください。

この時、連結部の上面に空間を設けて、試験を行ってください。

引張力は、日本デコラックス(株)標準タイプケミカルアンカーR-19 の長期許容引張強度を参考とし、38.3kN としてください。

S20×D40の穿孔要領



- 穿孔部分
- 連結部分（ドリルを回転しながら横移動させ削る）

cf. () 寸法は状況判断必要。